

(3) 総合

2021.3.15

全国賃貸住宅新聞

LGBTカップル客の対応、続々と

性的マイノリティー（LGBT）のカップルに向けた、窓口を設ける不動産会社が増えている。

専門家の話に 全国から参加

約3万7000戸を管理する三好不動産（福岡市）は、4月18日に『LGBTライブプランセミナー』



▶2019年に開催した『LGBTライブプランセミナー』の様子

「ナー」の開催を予定。不動産購入、住宅ローン、生命保険、財産分与、公正証書の手続きについて、専門家の話を配信する。2020年4月からはオンラインでも実施し、今回で4回目だ。参加者の多くは、同性パートナーと2人で不動産購入を検討する人で、多いときは70人が全国各地から参加した。

三好不動産では過去5年間に、LGBTのカップル約80組の賃貸契約を仲介した。その数は年を追うごとに増加傾向にある。同性カップルの賃貸契約では、友人契約ではなく、関係性を認めた上でパートナー契約を結ぶ。

三好不動産

オンラインセミナー実施

LGBTのカップルの部屋探しでは、管理会社やオーナーの理解不足から入居を断られるケースも少なくない。三好不動産では、全ての管理物件において入居できるものとし、家賃債務保証事業を行う関係会社で入居審査を実施して、スムーズな部屋探しを実現する。

スマイルプラザ別府店の原麻衣店長は「セミナー参加者の中には、法的効力のある公正証書を作成したカップルもいる。回を重ねるごとに、具体的な事例を伝えることができるようになった」と話す。